令和２年１月

ぎょさいだより

No 92

発行 長崎県漁業共済組合　〒850-0036 長崎市五島町２番２７号 ☎ 095-822-1680
メール nagasaki@gyosai.or.jp

長崎市の唐八景(とうはっけい)より　日の出の風景

謹賀新年（令和2年）

西暦 2020 年の本年は、干支の子(ねずみ)年にあたります。子年は十二支の第 1 番目に数えられ、子の月は 11 月(旧暦)、子の刻は深夜 0 時を中心とする約 2 時間、子の方角は北の方角を表します。また、西暦を 12 で割り 4 余る年が子年となります。

新 年 の ご あ い さ つ

長 崎 県 漁 業 共 済 組 合

組合長理事　　髙 平　真 二

県下の漁協役職員はじめ漁業者の皆様、明けましておめでとうございます。

年号が令和に変わり初めての正月をお健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

「ぎょさい」事業の普及について皆様方には格別のご協力をいただき厚くお礼申しあげますとともに、年々厳しさを増す漁業環境の中で、漁業の後継者の育成及び漁家経営の安定と発展のため、日夜努力されていることに対して、深く敬意を表します。

さて、昨年度は、資源の悪化と海況異変による不漁、相次ぐ台風と豪雨、さらには異常赤潮など自然災害による漁業被害が多発し、今後の大いなる不安要素として軽視出来ないものがございます。

ご案内のとおり「ぎょさい」は、こうした不漁や自然災害に備える国の唯一の施策として、浜の再生産に寄与して参りましたが、近年の漁業環境を考えるとその重要性を改めて認識することになりました。

こうした中、本組合では平成２９年度から―『ぎょさい』で安心、『ぷらす』で万全―を合言葉に展開しております「ぎょさい普及推進全国運動」の最終年として、加入拡大に努めるとともに、加入目標額３５０億円の達成に向け漁業経営安定対策事業「積立ぷらす」との連携、既存の掛金助成事業の活用を行い、浜廻りに全力を傾注して取り組んでまいる所存でございます。

令和２年は、「ぎょさい」と「積立ぷらす」を各浦浜に広く浸透させ利用していただくため、行政及び系統団体と一体となった取り組みを行っていく所存でございます。

今後とも、皆様のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、本年の航海と大漁を祈念し新年のご挨拶といたします。

２０２０年　会長年頭あいさつ文

新年のごあいさつ

全国漁業共済組合連合会
会長理事　宮 原　淳 一

謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

新春にあたり、皆様の本年のご多幸を心よりご祈念申しあげます。

今年は東京オリンピック・パラリンピックの年ということもあり、世界中から観光客が訪日することで経済効果も見込まれております。この流れを契機として、水産物については、大会が求める調達基準を満たす国内水産物の供給を目指す取り組みが行われるなど、水産物の需要の高まりに期待が寄せられています。漁業共済団体としましても、「ぎょさい」と「積立ぷらす」が漁業経営の大きな支えとして全ての漁業者の方々に活用していただくことで漁業の活性化のお手伝いができるよう、心を新たにして取り組んで参ります。

さて、昨年を振り返りますと、台風、豪雨による甚大な被害が各地で起き、自然の脅威を強く感じる1年となりました。海況異変によると思われるさんま、さけの2年連続の記録的な不漁などもあり、漁業経営のセーフティーネットとしての「ぎょさい」と「積立ぷらす」の重要性を改めて認識することになりました。被害にあわれた方々には、心よりお見舞いを申しあげますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

このような中、国は漁業の成長産業化と資源管理を両立させ、漁業の再興を図ることを目的に、一昨年、漁業法を70年ぶりに改正しました。そして、この改正漁業法の下で適切な資源管理等に取り組む漁業者の経営安定のためのセーフティーネットとして、「漁業収入安定対策事業の機能強化と法制化」を進めることとしており、その動向が注目を集めています。

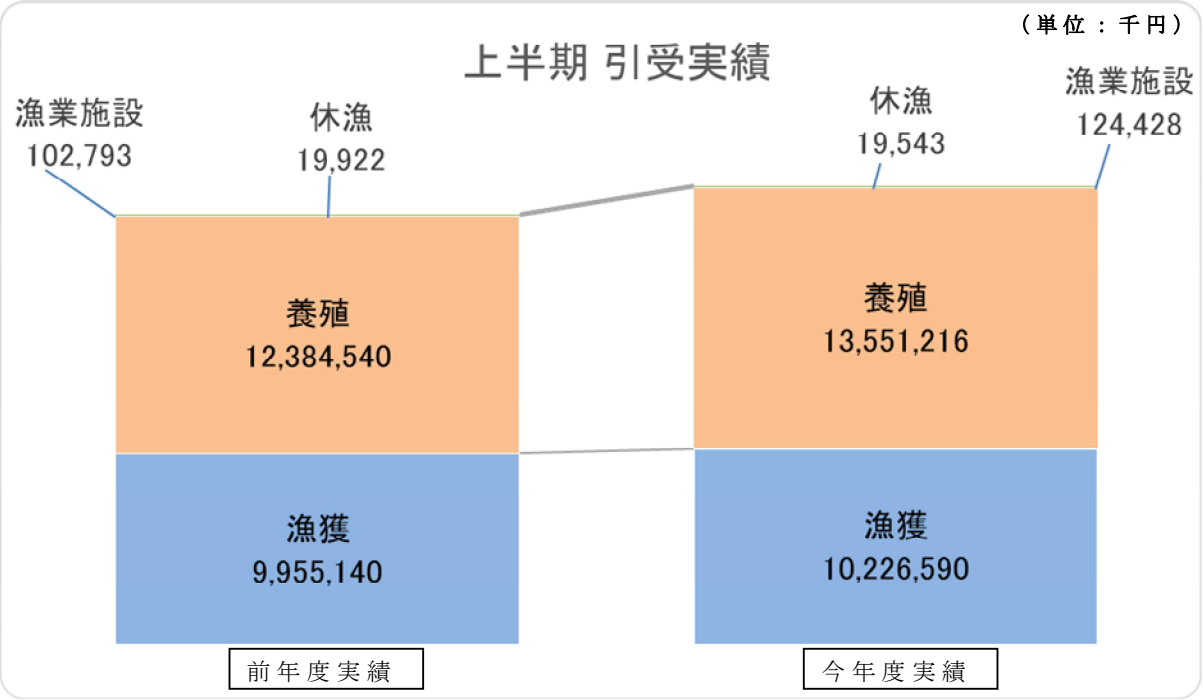
また、ＪＦグループは、来年度から掲げる運動方針「水産業の成長産業化に向けた改革の実践」の中で、適切な資源管理と水産業の成長産業化を両立させた活力ある漁業の構築を目指す方向としており、漁業共済団体としても、引き続き関係者の皆様と協力してより良い制度となるよう取り組んで参ります。

漁業共済団体が、平成29年度から実施して参りました「ぎょさいで安心・ぷらすで万全」をスローガンとした「ぎょさい普及推進全国運動」は最終年を迎え、今年度の目標として共済金額7,062億円、漁業者積立額287億円、加入率85%を掲げ加入推進に取り組んでいます。本運動も残すところ後3ヶ月間となりましたが、運動の集大成として更なる加入拡大を図るべく、漁業共済団体一丸となって尽力して参ります。

最後になりますが、4月からは新たなスローガンの下で「ぎょさい普及推進全国運動」を実施する予定としております。「ぎょさい」と「積立ぷらす」の未加入解消を目指して、より一層の加入拡大に取り組む所存ですので、本年も皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

１．上半期共済引受実績

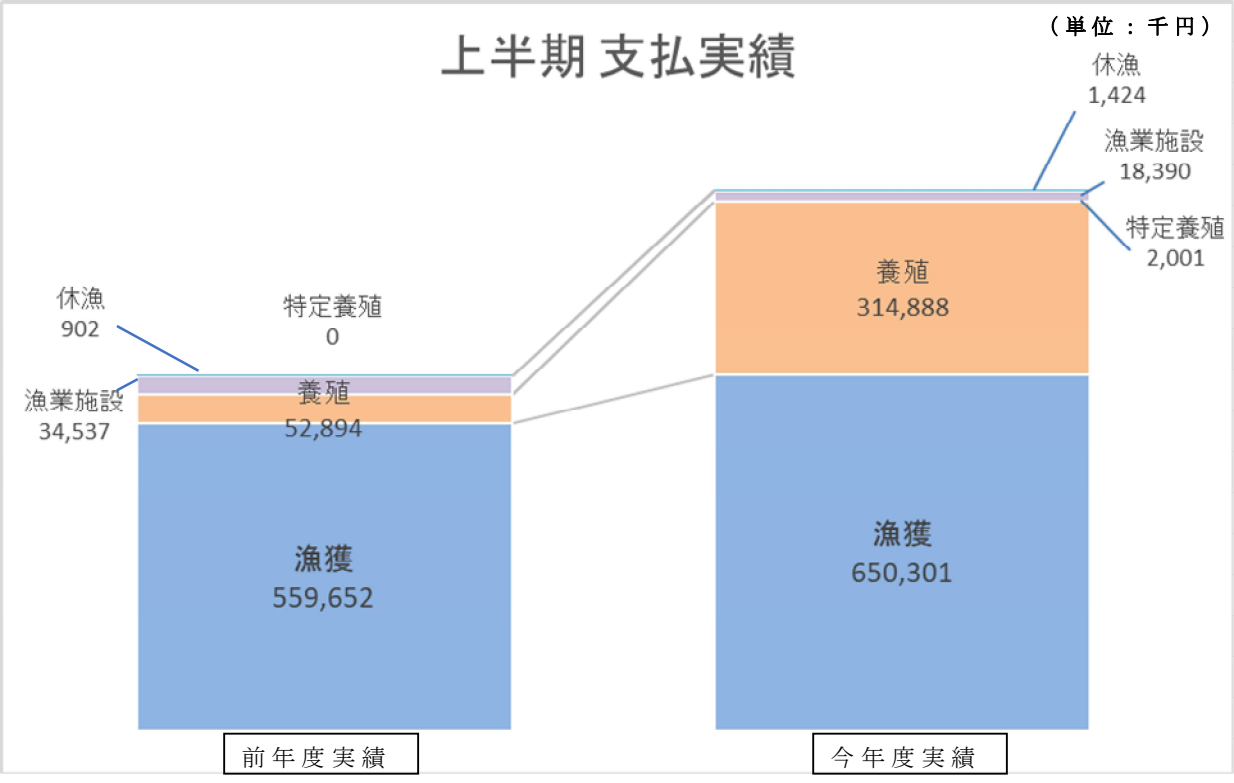
本年度の上半期引受実績は、239 億 2 千 1 百万円となり、計画目標金額 350 億円に対して 68%の達成率で、前年度実績に対して伸長率 106%、14 億 5 千 9 百万円の増加となった。



（注） 1．過年度契約の変更分を除く。
2．千円単位の表示金額は、百円の位を四捨五入したものである。

２．上半期支払共済金実績

本年度の上半期支払共済金は総額で、9 億 8 千 7 百万円となり、漁獲共済で 540 件の 6 億 5 千万円、養殖共済で 39 件の 3 億 1 千 4 百万円、漁業施設共済で 3 件の 1 千 8 百万円で、これを前年度上半期実績と比較すると、合計で 3 億 3 千 9 百万の支払増加となった。



３．上半期積立ぷらす（漁業収入安定対策事業）の実績

１．加入実績　357 件　11 億 7 千万円

区分	件数	漁業者積立額
漁獲	267	88,348
養殖	90	29,353
合計	357	117,701

（単位：万円）

２．払戻実績　615 件　19 億 4 百万円

区分	件数	積立払戻金	国庫補てん金	払戻補てん金
漁獲	563	38,606	115,818	154,424
養殖	52	8,995	26,985	35,980
合計	615	47,601	142,803	190,404

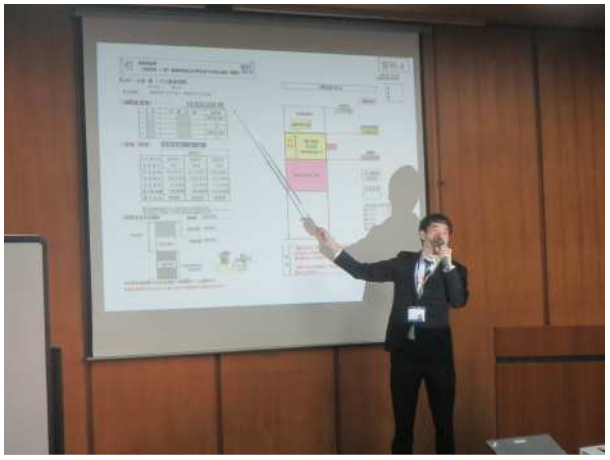
（単位：万円）

◎ぎょさい担当職員研修会開催（11 月 14 日～11 月 15 日）

昨年、令和元年 11 月 14 日から 2 日間、漁協会館 5 階大会議室で「ぎょさい」担当職員研修会が開催され、県下 28 組合、35 名の担当職員の方々に出席して頂きました。

1 日目の研修会では、はじめに漁済連　大亀様より「漁業共済・積立ぷらすの現況等」についての講演をしていただき、その後、当組合職員が共済・積立ぷらすについての説明を行いました。1 日目研修会終了後、懇親会を開催し、交流を深めました。

2 日目の研修会では、休漁補償共済・漁業施設共済、漁業共済の実務全般についての説明を行いました。



◎下記の写真は、本組合職員が撮影した県内各地の新年にふさわしい風景です。

護国神社　狛犬

冷泉岳より

諏訪神社

◎行事予定

魚類養殖共済担当者会議

令和元年度の魚類養殖共済の加入推進を目的に制度内容の周知を図るため、今年度も下記の日程で開催いたします。業務ご多忙とは存じますが、ご出席いただきますようお願いします。正式文書は後日発送いたします。

1.　日時　令和２年３月 13 日(金)　午後２時～
2.　場所　漁協会館５階大会議室

◎編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

昨年は、豪雨や台風など災害の多い大変な年でございました。複数の台風が日本列島を直撃し、中には激震災害に指定されたものもございます。

一方、日本で開催されましたラグビーワールドカップでは、日本チームが大活躍をして、国中が盛り上がりました。この活躍により、「ジャッカル」「笑わない男」等が流行語にノミネートされ、「ONE TEAM」は流行語大賞となりました。

今年は、いよいよ東京オリンピックの年となりますが、大きな災害がなく、熱狂と興奮に満ちた１年であることを願っております。(O)